



100m(女子)予選



走り幅跳び(女子)



100m(女子)決勝



100m×4リレー(女子)



健闘をたたえ合うサンゲイ選手と山口さん



ブータン初の陸上全国大会開催！

# ブータン×寄居 陸上競技選手権大会2018

BAAF-Yorii Athletics Championship 2018

ブータン初の陸上全国大会初の公式チャンピオン誕生

町では、平成28年10月、元陸上選手の為末大氏が代表を務める一般社団法人アスリートソサエティの協力のもと、東京2020オリンピックにおけるブータン王国陸上チームの事前キャンプ地に決定し、ホストタウンとして、同国とのさまざまな交流を進めています。

4月28日に、ブータンで初の陸上全国大会「ブータン×寄居陸上競技選手権大会2018」が開催され、県立寄居城北高校の陸上部員・小林楓佳さんと山口夏生さんが親善参加しました。大会開催資金の一部と高校生への渡航費用は、今年の1月から3月にかけて高校生等が行ったクラウドファンディングで得た支援金が充てられています。

大会は、時折雨が降る中、同国の首都ティンプー市内の陸上競技場で行われ、ブータン7地域での予選を勝ち抜いた約70人が参加しました。100メートルや走り幅跳びなど、各種目で

種目別 初代ブータンチャンピオン

種目	優勝者	記録
100m(男子)	タシ・デンドゥップ	11'88
100m(女子)	サンゲイ・ワンモ	13'84
走り幅跳び(男子)	タシ・デンドゥップ	6m46cm
走り幅跳び(女子)	テンジン・チョデン	4m25cm
100m×4リレー(男子)	ティンプー地区代表	46'13
100m×4リレー(女子)	プナカ地区代表	55'00

100mの優勝者、タシ・デンドゥップ選手とサンゲイ・ワンモ選手、100m×4リレー(男子)の優勝チームのメンバー、ペマ・ティンレー選手とディネシュ・カルマ選手は、平成28・29年度の交流事業で、寄居町で合宿を行いました。



激戦が繰り広げられ、ブータンで初となる公式チャンピオンが誕生しました。2020年の東京オリンピック出場に向け、選手たちの活躍が期待されます。日本から参加した小林さんと山口さんも、女子リレーで2位になるなど活躍。ブータンの選手等と交流を行い、寄居とブータンの絆を深めるよい機会とすることができました。

町では、引き続き、同国との交流を進め、東京2020オリンピックに向けて機運の醸成を図っていきます。



問 総合政策課  
☎5812121 内線463